



浅野の一般質問

市内中学校で生徒の命が無くなる悲しい事件・事故が起きています。再発防止に中学校も教育委員会もいろいろな取り組みを行っています。

事件・事故については教育委員会が設置した「第三者委員会」である「所沢市いじめ問題対策委員会」が調査、検証をして報告をする事になっています。調査委員会の検証結果が出ましたら、市民の方々に公表されます。「所沢市いじめ問題対策委員会」は、学識経験者、弁護士、臨床心理士、医師の4人の委員で構成されています。

私は、中学生になって小学校時代と変わって戸惑い悩み不安定になる時期「中1ギャップ」について聞きました。この時期をスムーズに超える事が大切です。

「中1ギャップ」とは・・・

中学1年生になり、小学校と違って教科制になったりテストが増えたり、部活が忙しくなったり、人間関係も多様化し精神的にも体力的にも負担が増えます。又、思春期の入り口にさしかかり、素直に自分の気持ちを表現する事をためらうような時期で、その時期を「中1ギャップ」と言います。

中学生生活に適應できない生徒をなくし、命を守る教育を今まで以上に努めて欲しい

浅野質問

中1ギャップに陥ったら生徒にどのような症状がでるのでしょうか？

学校教育部長答弁

個人差はありますが、生徒は新しい環境へのとまどいや不安を感じます。家庭での温かい言葉かけや学校での配慮などにより、とまどいや不安は徐々に解消されて行きますが、中には学習環境の変化への強い不安が学習意欲の低下につながったり、新しい人間関係に悩み、時には不登校傾向を示したりする等、中学校生活に適應できないケースもあります。

浅野質問

中1ギャップに陥らない為にどのような取り組みを所沢市は行っているのですか？

学校教育部長答弁

小・中学校の円滑な連携が必要です。本市では小・中学校における児童生徒、教職員間の交流や情報交換を通じ、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育を進めている。6年生の中学校への体験入学では、中学生による学校生活の説明や部活動体験等も実施していますし、中学校教員による小学校への出前授業もしています。

浅野質問

市の教育委員会が今年の3月に「第2次所沢市教育基本計画」を発表しました。今後5年間、力を入れる計画が載っていますが「中1ギャップ」についての記載があっさりしすぎています。現場でいろいろ取り組んでいるのであれば、意識的にもっと計画の中に入れて記載すべきだと思います。中1ギャップについて、詳細に説明し先生方の生徒への共感や指導、保護者への指導の必要性を書いた小冊子等を作成して、初めて中学1年生の担任になった先生等に差し上げる位の取り組みを教育委員会はした方が良いのではないのでしょうか？

又、小学校では褒められていた生徒が、中学生になり各教科ごとの宿題や提出物が増えて、作成できなくて忘れたら、先生の指導上、注意したりします。生徒は怒られる事が増えてしまう可能性があります。

そんな中でも、時には、良いところを見つけて温かい言葉を先生にはかけていただきたいです。全ての生徒が中1ギャップを乗り越えスムーズに適應して行くには、今以上の学校の取り組みも考えて欲しいです。

学校教育部長答弁

さらに、様々な個性や特性をもった児童生徒一人ひとりに寄り添い、学校や学級を、どの子ども安心して過ごせる「心の居場所」にしていくように努めます。本市では、学校生活の中で多くの時間を占める授業において、子ども達の「出来るようになりたい」という願いに応える為に、児童生徒が主体的に学び「わかる喜び」を味わえるように、授業改善を進めています。又、中学校では子どもたちの心の状態を把握する為に、学級満足度や生活意欲等に関する心理アンケートを実施しています。その結果を全教職員で共有する事は勿論、中には本音で回答できない生徒がいる事をふまえて子どもの内面に迫るような支援を行って参ります。その上で支援強化の為に、今年度4月から、市のスクールカウンセラーを4人、新たに配置しています。今後、より一層、複数の教職員で生徒のサインをとらえ、共有し、適切に対応する組織的な体制を整えていく必要のあると考えています。



浅野質問

保護者の方には、朝の登校時に子どもに否定的な言葉をかけるべきではない事。また、思春期で親に話さなくなる子どもさんもあるかもしれませんが、表情やしぐさから心の状態を把握する努力をして欲しい事などを、学校が保護者により働きかける必要があると思います。

学校教育部長答弁

保護者の方々には、懇談会等で家庭にお願いしている事は、「生活リズムを整える事」「子どもの話をよく聞く事」「子どもの様子をよく見る事」「他の子どもと比較せず我が子の良さを認める事」等です。また、大人に対して距離を置く様になる児童生徒がいるので、ちょっとした変化やSOSを学校、家庭で連絡し合い連携を図る事をお願いしています。本市においては、生徒のかけがえのない命が失われるという、あってはならない事案が発生しています。教育委員会としては、この事を極めて重く受け止め、児童生徒が安心して、健やかに学校生活を送るように、全力で努めます。